

# ゴミにしないで循環型社会



巨理町町民生活課

# なぜ、ごみの減量が必要なのか？

## 1. 地球環境問題

地球温暖化は、20世紀半ばに観測された世界の平均気温の上昇のほとんどが、人為的な温室効果ガスの増加によってもたらされた可能性が高いとされています。そのほか、オゾン層破壊、酸性雨、森林の減少、砂漠化、資源の枯渇なども問題になっています。

## 2. 大量生産・大量消費・大量廃棄型のライフスタイルの変化

地球環境問題は、大量生産・大量消費・大量廃棄型のライフスタイルが主な原因といわれ、環境への負荷の少ない「循環型社会」をつくるために、身近な取り組みとして、ごみの減量・リサイクルが大切です。

## 3. 埋めたてる場所の確保

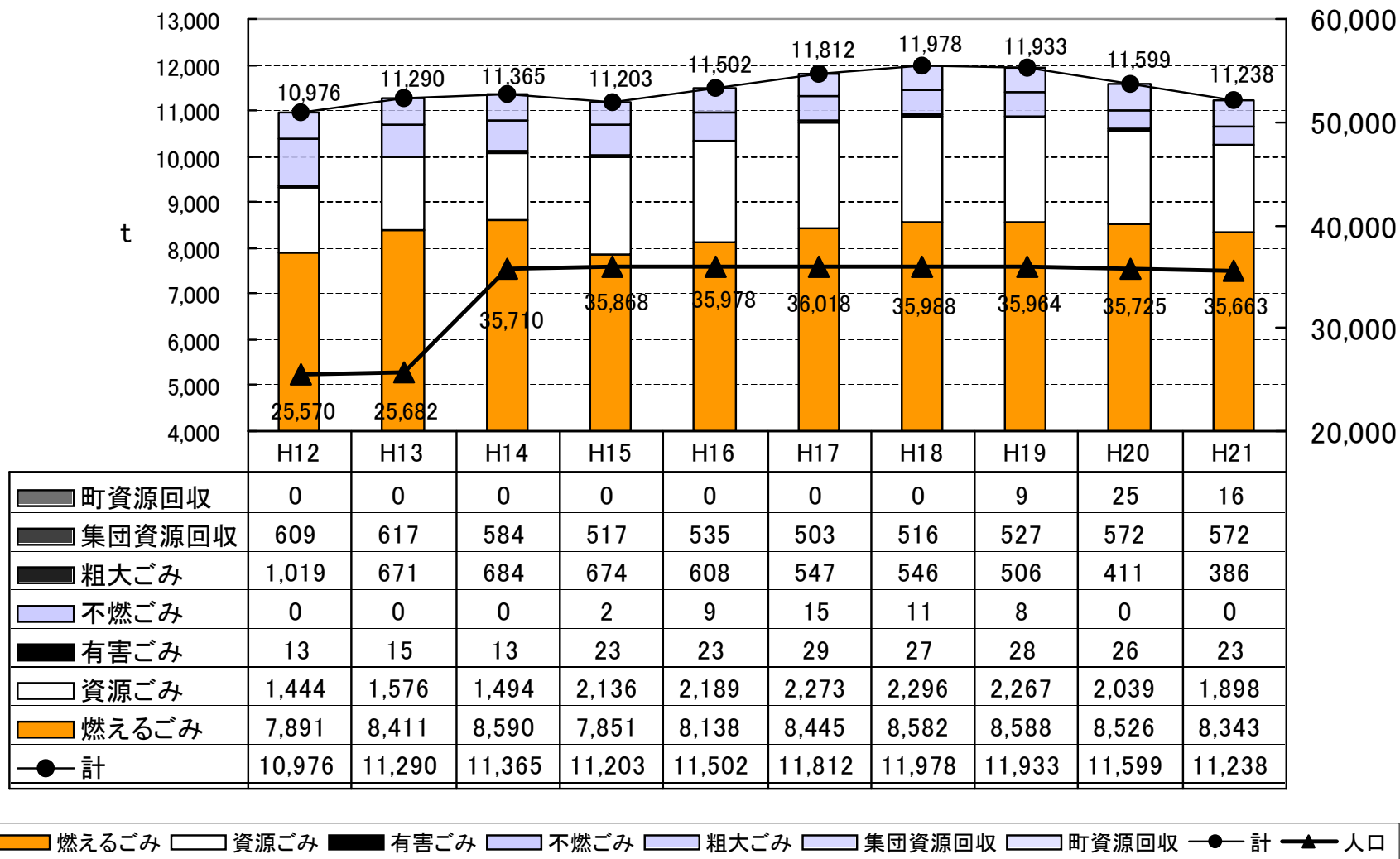
ごみを燃やした後の灰や側溝汚泥など、埋めたてる場所の確保が困難になってきます。



## 4. ごみ処理費の削減

ごみ処理をするのは、みなさんの納税された税金で賄われています。ごみの減量をすることで、処理費が節約され、もっとほかの事に税金を使うことができます。また、ごみの量が減ることで、ごみ処理施設も負担が少なくなります。

# 平成21年度町内ごみ総排出量の推移



\* ごみ総排出量 = 清掃センター搬出量(家庭ごみ + 事業ごみ) + 集団資源回収量 + 町資源回収量

●平成21年度のごみの排出量は11,238トン(うち清掃センター搬入10,650トン)  
平成20年度と比較し361トン減少(3.1%減)

種 類	平成20年度	平成21年度	比較増減
燃 え る ご み	8,526トン	<b>8,343トン</b>	183トン ↓
資 源 ご み	2,039トン	<b>1,898トン</b>	141トン ↓
有 害 ご み	26トン	<b>23トン</b>	3トン ↓
粗 大 ご み	411トン	<b>386トン</b>	25トン ↓
集 団 資 源 回 収	572トン	<b>572トン</b>	0トン →
町 資 源 回 収	25トン	<b>16トン</b>	9トン ↓
計	11,599トン	<b>11,238トン</b>	361トン ↓

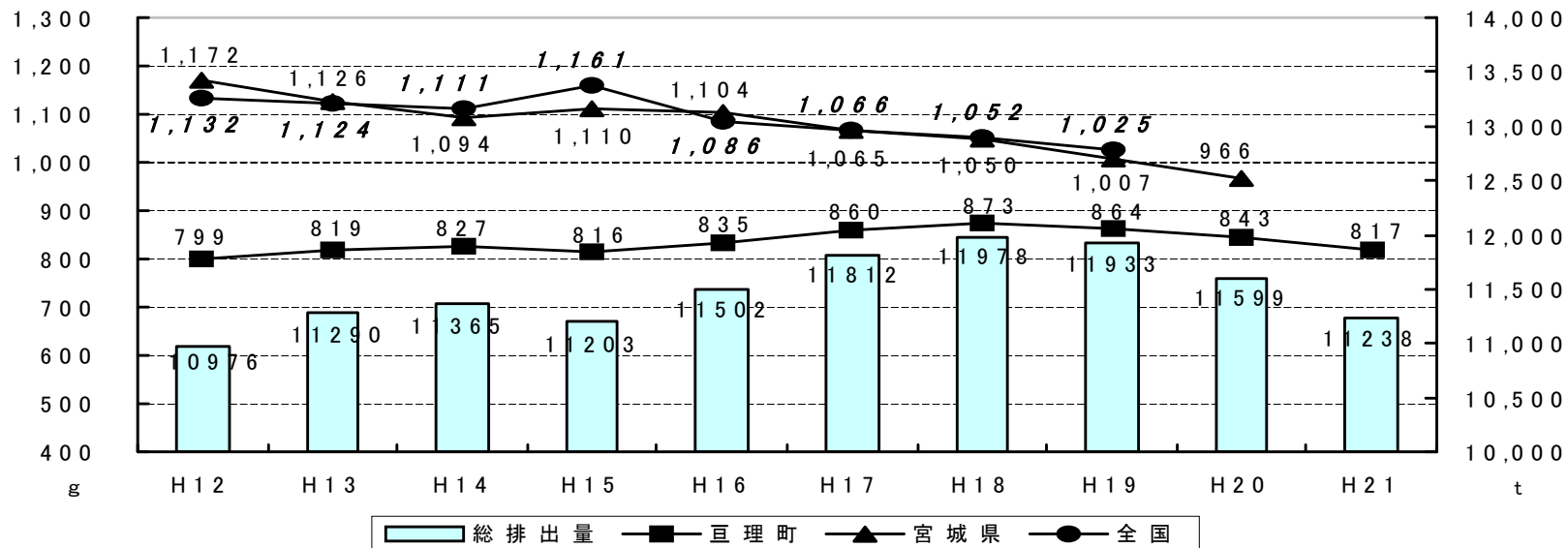
●減量につながった要因

- ①みんなが環境(エコ)に関心が高くなってきていること。
- ②3Rのリデュース(排出抑制)が推進されたこと。(マイバック持参の普及、簡易包装など)
- ③リサイクルショップ、フリーマーケット、ネットオークションなどの活用。(リユース・再利用)
- ④平成20年度より雑がみ回収が開始され、燃えるごみ削減の効果があらわれてきているため。
- ⑤人口の減少のため。(H21:35,703人 → H22:35,648人、0.2%減)
- ⑥節約志向(不景気)により家計の支出を抑えているため。

参考：平成21年度ごみ処理最終処分場処理量(側溝土砂・し尿焼却灰は除く)

亘理町の焼却灰埋立量 1,156トン(2市2町の焼却灰埋立量6,344トンのうち18%を占める)

# 1人1日当たりの排出量の推移



## ●1人1日当たりの排出量

全国や宮城県の排出量が減少するなか、亶理町は平成18年度まで増加傾向にあったが平成19年度より減少傾向にある。平成21年度は総排出量が前年度比3.1%減少したため、1人1日当たりのごみ排出量も前年より26g減少している。

## ●1人1日当たりのごみ排出量(H20)宮城県内36市町村(生活系+事業系)

トップ3 1位 色麻町(615g) 2位 丸森町(638g) 3位 七ヶ宿町(662g)

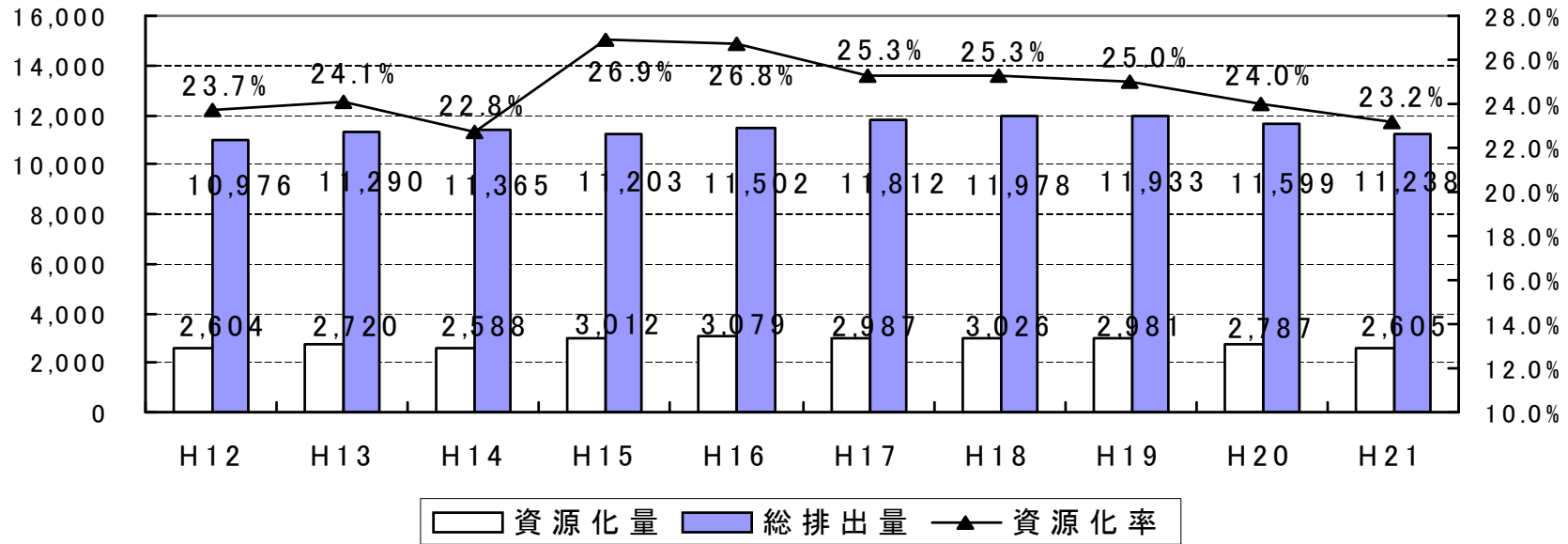
ワースト3 36位 塩釜市(1120g) 35位 松島町(1100g) 34位 利府町(1094g)

※16位 亶理町(843g) 内訳:生活系29位(724g)・事業系6位(119g) H19:14位

22位 名取市(937g) 23位 岩沼市(947g) 13位 山元町(831g)

\*1人1日当たりの排出量(g/人・日) = 総排出量(センター収集量 + 集団資源回収量 + 町資源回収量) ÷ 総人口 ÷ 365日

# リサイクル率の推移



## ●リサイクル率の推移

平成21年度は前年度と比較し、資源ごみ141トン減少、集団資源回収が横ばい、町資源回収が9トン減少により、リサイクル率が0.8%減少した。

※資源ごみは、3Rの中でも最も削減効果が高いリユース・排出抑制（マイバック持参の普及、簡易包装など）が推進され減少したと思われる。

## ●リサイクル率(H20)宮城県内36市町村

トップ3 1位 丸森町(31.1%) 2位 山元町(25.1%) 3位 亶理町(24.1%)

ワースト3 36位 美里町(10.0%) 35位 涌谷町(10.0%) 34位 気仙沼市(11.1%)

※9位 名取市(20.7%) 10位 岩沼市(20.2%)

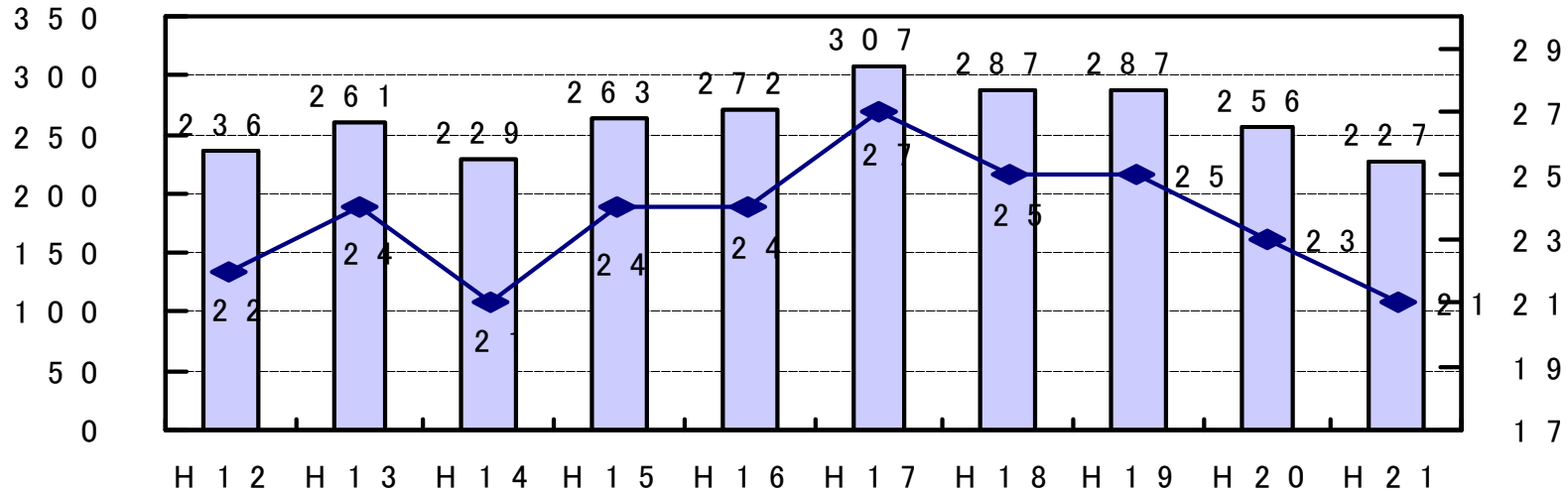
\*リサイクル率(%) = (資源ごみ量 + 集団資源回収量 + 町資源回収量 + 中間処理後再生利用量) ÷ 総排出量

# ごみ処理経費

総処理費  
(百万円)

ごみ処理費の推移

1kgあたりの  
処理費(円)



◆平成21年度のごみ処理経費 2億2789万9285円(H20より約2820万円減)

H21町一般会計歳出決算予定額 98億2062万5995円のうち2.3%を占める(H19より0.3%減)

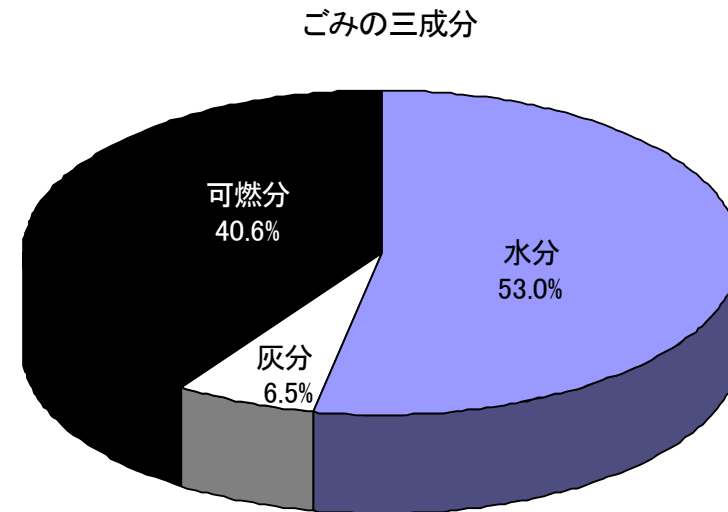
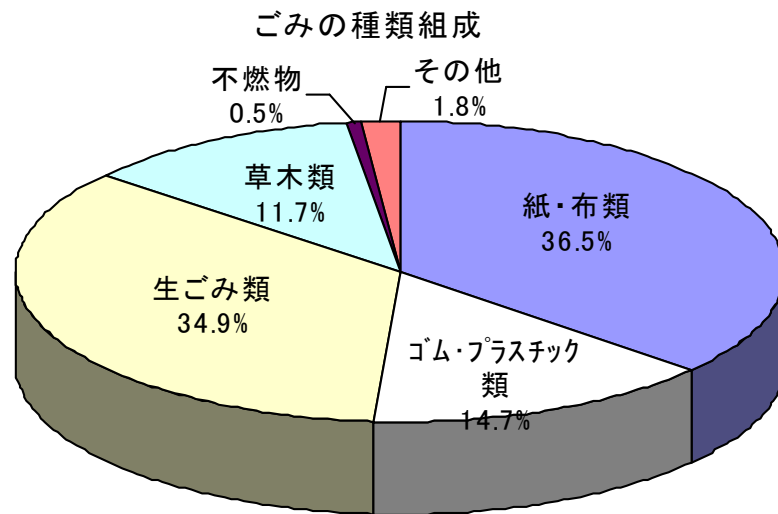
◆一人当たりのごみ処理経費(年間/人口) 6,390円(H20より779円減)

◆一世帯当たりのごみ処理経費(年間/世帯数) 20,251円(H20より2693円減)

◆ごみ1kg当たりのごみ処理経費 **21円**(H20より2円減)

※ごみ処理経費は、みなさんが納税された税金でまかなわれています。ごみの排出量が増えれば、ごみを出した量に応じた、新たな上乘せ負担(ごみの有料化)をお願いすることになります。

# 家庭ごみ燃えるごみの中身



## ●ごみの種類組成を調査(年4回調査し平均値)

1位 紙・布類 (36.5%)      2位 生ごみ類 (34.9%)      3位 ゴム・プラスチック類 (14.7%)  
4位 草木類 (11.7%)      5位 その他 (1.8%)      6位 不燃物 (0.5%)

※資源化できる、雑がみ、紙製容器包装、プラスチック製容器包装が、まだまだ燃えるごみに含まれていますので、分別の徹底を引き続きお願いします。

## ●ごみ三成分調査(年4回調査し平均値)

1位 水分 (53.0%)      2位 可燃分 (40.6%)      3位 灰分 (6.5%)

※水分が50%以上含まれています。ごみ処理費の負担金は主に重量で算出されています。生ごみの水分も重量に入っていますので、水きりの徹底をお願いします。

(水分 1 kgも21円になります。)

# 事業系ごみ

## ◆事業系ごみの排出方法

- ①事業者が直接清掃センターへ搬入
- ②一般廃棄物処理業許可のある業者(町で許可約45業者)に委託し、清掃センターへ搬入

※各行政区のごみ集積所へは搬出できません。

また、事業系ごみ専用ごみ袋を使用しなければなりません。

## ◆事業系ごみ一人1日当たりの排出量(H20)宮城県内36市町村

トップ3      1位 七ヶ宿町(36g)      2位 丸森町(89g)      3位 色麻町(102g)

ワースト3    36位 大衡村(455g)    35位 松島町(394g)    34位 仙台市(387g)

※6位 亘理町(119g)      H19:5位(117g)

26位 名取市(256g)      19位 岩沼市(218g)      11位 山元町(143g)

## ◆各種リサイクル法によりリサイクルを行なっている 資源有効利用促進法

容器包装リサイクル法、家電リサイクル法、食品リサイクル法、  
建設リサイクル法、自動車リサイクル法など



## ①燃えるごみ

- 出し方 →もえるごみの袋
- 注意点
  - ・生ごみ →十分に水分を切る
  - ・プラスチック製品→プラスチック製容器包装に適合しないもの
  - ・木片・木の枝
    - 長さ60cm、太さ10cm以内にカット
  - ・長い・広がるもの
    - 長さ60cm、太さ10cm以内にカット  
30cm四方に切断
  - ・汚れの落ちないもの
  - ・在宅医療廃棄物 →燃在のマークを明記  
鋭利でないもの(注射針以外)  
鋭利であるが安全なもの(ペン型注射針など)

## ③缶

- 出し方 →リサイクル袋
- 注意点
  - ・飲料・食品用の缶
  - ・アルミマーク、スチールマークのあるもの
  - ・水洗い
  - ・飲料・食用品以外の金属類は金属製品類へ  
(飲料用の金属フタは金属製品へ)
  - ・集団資源回収を活用ください



## ②プラスチック製容器包装

- 出し方 →リサイクル袋
- 注意点
  - ・プラマークのあるもの
  - ・プラマークがなくても食品トレイなど
  - ・緩衝材(発砲シチロール)
  - ・プラマークがあっても、汚れの落ちないものは燃えるごみへ
  - ・水洗い



## ④びん

- 出し方 →コンテナ・色別3種類  
(無色透明・茶色・雑びん)
- 注意点
  - ・飲料・食品用のびん
  - ・水洗い
  - ・飲料・食品用以外のびん
  - ・油分が多い、汚れが落ちないびんは、  
ガラスくず類へ  
(ドレッシング、化粧品、薬のびんなど)
  - ・ビールびん、一升びんは集団資源回収を活用

## ⑤紙製容器包装

- 出し方 →リサイクル袋
- 注意点
  - ・紙マークのあるもの
  - ・飲料用は水洗い
  - ・汚れの落ちないものは、燃えるごみへ



## ⑦紙パック

- 出し方 →白の紙ひもで縛るか回収ボックス  
(各公民館・保育所、役場)
- 注意点
  - ・紙パックマークのあるもの
  - ・内側が白いもの(牛乳パックなど)
  - ・汚れが落ちないものは、燃えるごみへ
  - ・水洗いし開いて乾かして排出



## ⑨新聞紙

- 出し方 →白い紙ひもで縛る
- 注意点
  - ・広告は分けなくてもよい
  - ・集団資源回収を活用

## ⑥雑がみ

- 出し方 →紙ひもで縛るかリサイクル袋
- 注意点
  - ・紙マークのない、紙製容器包装以外の包装紙、紙箱、紙袋、台紙、ノート、メモ用紙、チラシ、ハガキ、封筒など
  - ・防水加工紙(紙コップ、紙皿)、カーボン紙、感熱紙、アイロンプリント紙、粘着物があるもの(シール、ラベル)、匂いのついた紙、写真、圧着ハガキなどは →燃えるごみへ
  - ・汚れの落ちないものは →燃えるごみへ

## ⑧雑誌・書籍

- 出し方 →白い紙ひもで縛る
- 注意点
  - ・週刊誌、単行本、雑誌、書籍など
  - ・集団資源回収を活用

## ⑩ダンボール

- 出し方 →白い紙ひもで縛る
- 注意点
  - ・ダンボールマークのあるもの
  - ・断面が波型の紙製の箱
  - ・集団資源回収を活用



## ⑪ペットボトル

●出し方 →リサイクル袋

### ●注意点

- ・ペットマークのあるもの
- ・包装フィルムははずさなくてよい
- ・水洗い
- ・汚れが落ちないものは、燃えるごみへ



## ⑫布類

●出し方 →ひもで縛る

### ●注意点

- ・木綿50%以上のもの
- ・カーテンなど広がるものや、毛糸素材のものは対象外

## ⑬ガラスくず

●出し方 →コンテナ

### ●注意点

- ・割れているびん・ガラス、油分の多いびん、ガラス製品など
- ・とがったものは新聞紙に包む
- ・コンテナからはみ出るものは粗大ごみへ

## ⑭せともの

●出し方 →コンテナ

### ●注意点

- ・陶磁器製の食器、鉢、花瓶など
- ・コンテナからはみ出るものは粗大ごみへ

## ⑮金属製品

●出し方 →コンテナ

### ●注意点

- ・飲料・食品用以外の缶類や金属製品
- ・スプーン、フォーク、なべなど
- ・コンテナからはみ出るものは粗大ごみへ

## ⑯複合素材製品

●出し方 →コンテナ

### ●注意点

- ・金属を含む2種類以上の素材のもの
- ・コンテナからはみ出るものは粗大ごみへ

## ⑰有害・危険ごみ

●出し方 →コンテナ

### ●注意点

- ・蛍光灯、電球、体温計、乾電池、包丁、携帯ガスボンベ、スプレー缶、ガスライター、未使用の花火・マッチなど
- ・包丁は新聞紙に包み危険と書く

## ⑱粗大ごみ

●出し方 →清掃センターへ直接搬入  
訪問収集依頼  
一般廃棄物処理業社へ委託

### ●注意点

- ・ごみ袋やコンテナに入らないものは粗大ごみ
- ・重量に応じて料金が発生する
- ・清掃センターでも処理できないものがあるので、搬入前に町民生活課か清掃センターへ連絡ください

## 重要:リサイクル法などにより処分

### ●家電リサイクル法…家電4品目

#### \*対象家電

テレビ(ブラウン管・液晶・プラズマ)  
エアコン(室外機含む)、冷蔵庫・冷凍庫  
洗濯機・衣類乾燥機

#### \*処分方法

- ・買い替えの場合  
購入店に依頼(リサイクル料、収集運搬料発生)
- ・買い替え以外の場合  
購入店わかる: 購入店に依頼  
購入店不明: 郵便局でリサイクル券の購入  
→各自指定取引所か清掃センターに搬入

### ●PCリサイクル法…パソコン

- ・廃棄するパソコンメーカーで受付窓口に申込む
- ・エコゆうパックボックスの受取り
- ・郵便局に郵送依頼する  
PCマーク有り→新たな料金負担なし  
PCマークなし→回収再資源化料金の負担

### ●消火器のリサイクル

- ・(株)消火器リサイクルセンターにリサイクルを依頼する。(TEL:03-5829-6773)

# ごみ集積所のルール

## ①正しい分別

分ければ「資源」混ぜれば「ゴミ」

## ②決められたごみ袋、コンテナ、紙ひも等で縛ること

指定の袋には行政区と氏名を記入する。

## ③収集曜日を守ること

収集する曜日は地区(6地区)によって異なります。

## ④決められたごみ集積所へ出すこと

他の地区のごみ集積所には出さない

## ⑤決められた時間(午前8時30分)までに出すこと

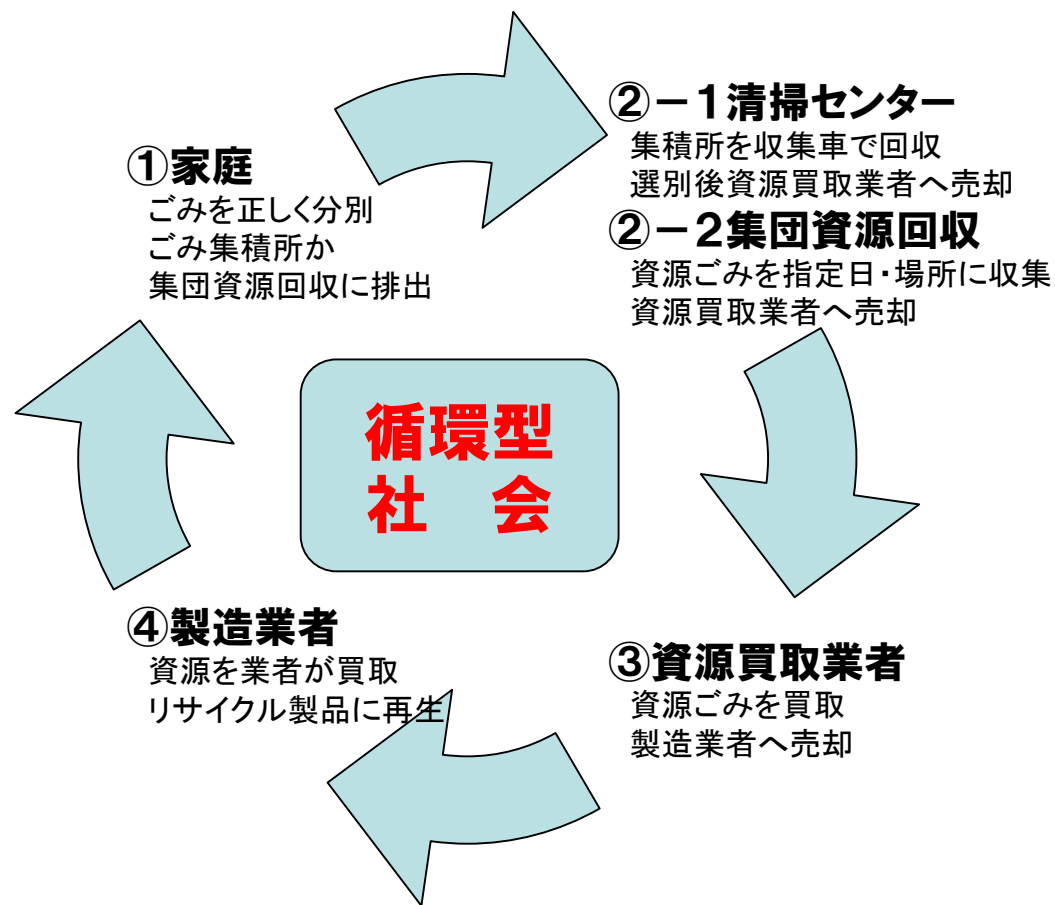
収集開始が8時30分から始まります。

収集後出されたごみは行政区で処理することになります。

※ごみ集積所は、みんなのもの。ルールを守って使用しましょう。

※ごみ集積所は、各行政区で管理しています。

# ゴミの処理経路



# 何に再生されるの？

ダンボール	→	ダンボール
新聞紙	→	新聞紙、週刊誌、マンガ本、紙箱、絵本など
アルミ缶	→	アルミ缶、自動車部品
スチール缶	→	鉄骨、鉄筋、建設資材など
リターナブルびん (ビール・一升びん)	→	洗って繰り返し使用
ワンウェイびん (1回のみ使用びん)	→	くだいて新しいびんに再生
本・雑誌 雑がみ	→	紙箱、絵本、マンガ本、週刊誌、画用紙、OA紙、ダンボールなど
ペットボトル	→	フリース、ワイシャツ、ボールペン、プラスチックボトルなど
紙パック	→	牛乳パック、ティッシュペーパー、トイレtpペーパーなど
プラスチック製 容器包装	→	パレット(フォークリフトの荷台)、再生樹脂、擬木、固形燃料など

# ごみ処理施設

平成 5 年	<p>亶理清掃センター、亶理一般廃棄物最終処分場を建設          亶理町・山元町でごみ処理開始(亶理地区行政事務組合で管理)</p>
平成 9 年	<p>全国的な最終処分場の確保難、リサイクルの高まり、ダイオキシン類対策の必要性からごみの広域化が検討される</p>
平成 14 年	<p>名取市・岩沼市・亶理町・山元町の広域によるごみ処理開始          亶理名取共立衛生処理組合で管理</p> <p>焼却施設 (2): 名取クリーンセンター、亶理清掃センター          リサイクル施設(3): 名取クリーンセンター、亶理清掃センター          岩沼清掃センター</p> <p>最終処分場(2): 岩沼一般廃棄物最終処分場          亶理一般廃棄物最終処分場</p>
現 在	<p>名取クリーンセンター(名取市) → 27年経過老朽化          亶理清掃センター(山元町) → 17年経過</p> <p>岩沼一般廃棄物最終処分場(岩沼市) → 平成21年4月拡張          亶理一般廃棄物最終処分場(亶理町) → 残余年数わずか</p>
こ れ か ら	<p>新ごみ処理施設建設予定 → 岩沼市下野郷(予定)          一般廃棄物最終処分場の確保 → 名取市(予定)</p>

# ごみ減量の支援について

## 1. リサイクル奨励金交付事業

### ◆目的

ごみの減量と資源の有効活用を図るため、  
資源ごみを集団回収する団体を支援

### ◆対象品目

紙類・・・新聞紙(広告含む)、雑誌、雑がみ  
ダンボール

金属類・・・アルミ缶、スチール缶、アルミくず、  
鉄くず

びん類・・・ビールびん、一升びん、ジュース  
びんなど

### ◆対象団体

町内会、子ども会、婦人会、老人会、PTA等

### ◆奨励金の額

1kg当たり 4円を交付

### ◆資源回収業者

町に登録している資源回収業者

## 2. 生ごみ処理容器購入事業

### ◆目的

ごみの減量化と地球温暖化防止のため、  
生ごみ処理機(容器)を購入された方を支援

### ◆補助対象容器

#### ①コンポスト容器

容器の有効容量が100リットル以上  
保証期間が5年以上のもの

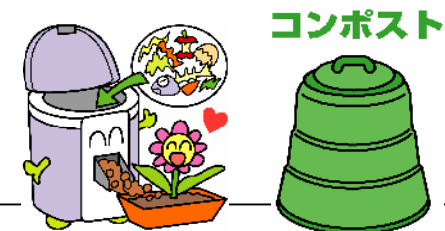
#### ②生ごみ処理機(発酵分解、乾燥式)

生ごみを5分の1に減量する能力のもの  
保証期間が1年以上のもの

### ◆補助金額

購入金額の2分の1以内で

補助限度額	コンポスト	3,000円
	生ごみ処理機	25,000円



# ごみ処理にかかる現状と今後の取り組み

## 現 状

- ①**ごみの総排出量** → 昨年より減少傾向  
前年度より 3 6 1 トン減少 (3.1%減)
- ②**1人1日当たりの排出量** → 昨年度より減少傾向
- ③**集団資源回収量** → 横ばい  
リサイクル意識が高まり、子ども会主体の実施ではなく町内会や各種団体の協働による事業展開が増えてきている
- ④**ごみ処理費** → 横ばい (減量の成果は次年度以降に反映されます)

## 今後の取り組み

- ①**ごみの排出の抑制** → 更なるごみの減量
- ②**分別の徹底** → 燃えるごみの減少、資源ごみの増加
- ③**生ごみの水切り徹底** → 燃えるごみの減量
- ④**分別徹底、集団資源回収の促進** → リサイクル率の向上
- ⑤**リサイクルシステムの周知** → 循環型社会の普及啓発
- ⑥**不法投棄の増加** (各種リサイクル法施行で処分方法が複雑化)

# ごみ減量化の目標とアクション

## 目標1 一人1日当たり60gの減量

### ①生ごみの水切り徹底

→水分1kg当たり21円の処理費削減

### ②もえるごみに含まれる紙の資源化

### ③もえるごみに含まれる不燃物の除去

### ④資源ごみの分別徹底

### ⑤マイバックの利用促進

→排出抑制(リデュース)

### ⑥生ごみ処理容器の普及

### ⑦集団資源回収を利用する

## 目標2 リサイクル率30%以上達成

### ①集団資源回収事業の推進拡大・活用

→資源としてリサイクルし、売却益で団体の活性化にもつながる。

### ②新たな集団回収事業の展開

→少子化等で子ども会単独の事業展開が難しくなっている。町内会や各種団体と協力し効率的な集団資源回収が求められる。

### ③こまめに分別し資源として排出

## 目標3 3R(スリーアール)の実践

### ①リデュース(Reduce)発生抑制

ごみなるものを買わない、もらわない。長く使える製品を使用する。

### ②リユース(Reuse)再使用

繰り返し使用できるものを買う。リサイクルショップ、フリーマーケット、インターネットオークション等を利用する。

### ③リサイクル(Recycle)再生利用

資源として分別する。リサイクルされた製品を使用する。

# 今からすぐできる <sup>スリーアール</sup> 3R

**Reduce** (リデュース) とは、物を大切に使い、ごみを減らすことです。

- 必要のない物は買わない、もらわない
- 買い物にはマイバック持参する



**Reuse** (リユース) とは、使える物は、繰り返し使うことです。

- 詰め替え用の製品を選ぶ
- いらなくなった物を譲り合う



**Recycle** (リサイクル) とは、ごみを資源として再び利用することです。

- ごみを正しく分別する
- ごみを再生して作られた製品を利用する



**地球のために、未来のために  
一人ひとりができることから、  
はじめましょう。**

